

MP-6LII・6PII・6SII 取扱説明書

Spotlight Manual

この度は松村電機の製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。
未長く安全にご愛用いただくために、
取付・設置およびご使用前には、
必ず取扱説明書をお読みください。
お読みいただいた後は大切に保管し、
必要なときに活用してください。

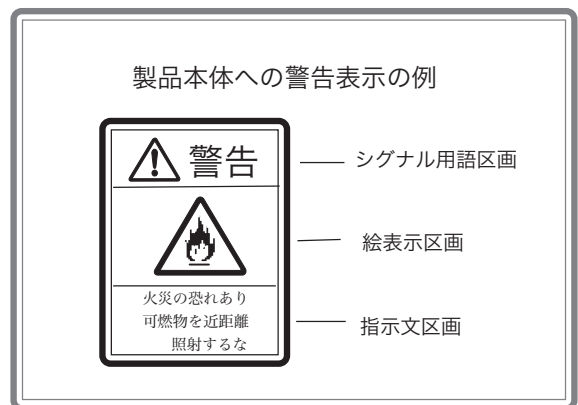


もくじ

表紙.....	1
警告表示内容の説明.....	2
本体表示銘板と表示内容.....	3
取扱いの注意事項.....	4
ご使用方法	
各部の名称.....	7
スタンドへの取付け.....	7
電球の取付け.....	7
電球調整.....	8
カラーフィルタの装着.....	9
フォーカス調整.....	9
シャッタ調整.....	10
パターンホルダの使用.....	10
レンズの清掃.....	10
ヒューズ交換.....	11
ハンガーへの取付け【MP-6SIIのみ】.....	11
器具の吊パイプへの取付け【MP-6SIIのみ】.....	11
点検と修理.....	12
外形寸法.....	13
照度データ.....	13
仕様.....	14
弊社連絡先.....	14

《警告表示内容の説明》

照明器具の本体に警告表示をしています。
取扱うときには、警告表示内容をよくご理解のうえ安全にご使用ください。



《警告表示の注意喚起シンボルとシグナル用語》

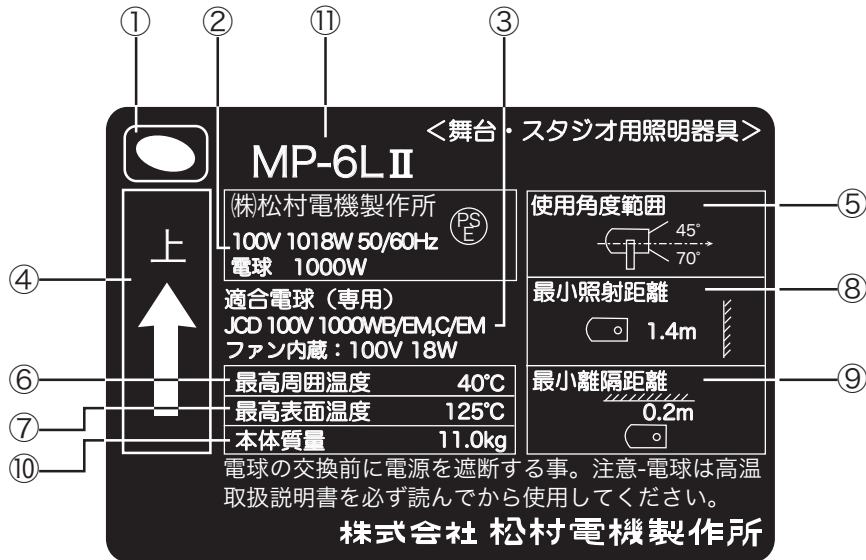
警告表示の注意喚起シンボルとシグナル用語の意味

警告 —— 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。

注意 —— 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

《本体表示銘板と表示内容》

照明器具の本体に下記の銘板を表示しています。
取扱うときには、銘板の表示内容をよくご理解のうえ安全にご使用ください。



- ① 用途表示 : 「演出空間用照明器具」であることを表示しています。
- ② 法定表示 : 電気用品安全法の規定による「製造事業者名」「定格電圧」「電球の定格消費電力」「 PE マーク」を表示しています。
- ③ 適合電球 : 適合電球を表示しています。指定された電球を必ずご使用ください。
- ④ 上部方向表示 : 器具の上部方向を表示しています。必ず矢印の方向を上にして取付けてください。
- ⑤ 使用角度範囲 : 基準方向（光軸水平方向）に対する使用角度の範囲を表示しています。図示された範囲内でご使用ください。
- ⑥ 最高周囲温度 : 通常の使用状態のもとで、連続動作させてもよい周囲温度の最高値を表示しています。
- ⑦ 最高表面温度 : 使用角度範囲内において、連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。
- ⑧ 最小照射距離 : 器具と被照射対象物との間の最小距離を表示しています。
- ⑨ 最小離隔距離 : 器具周辺と可燃物との間の最小距離を表示しています。
- ⑩ 本体質量 : 器具本体（電球を含む）の質量を表示しています。（ハンガー、その他の付属品は含みません）
- ⑪ 型名 : モデル番号（型番）または名称を表示しています。

《取扱上の注意事項》



警告



- 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。
一般用照明器具として使用する製品ではありません。



- 器具の本体質量に見合った取付金具を使用してください。
取付金具の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定距離より近すぎると、火災の原因となります。



- 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。



- 器具の使用角度に制限のある器具があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。
使用角度範囲を超えると、器具の破損、電球の破裂の原因となります。



- 器具の取付（設置）時は、電源コードを器具本体に接触しないように取付けてください。
接触していると火災の原因になります。



- 器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。



- フィルタホルダ枠の押さえ金具(固定ネジやストッパ)を確実に止めてください。
押さえ金具(固定ネジやストッパ)を確実に止めないと、フィルタホルダが落下し、物的損害・けがの原因となります。



- フィルタホルダは、適合品を使用してください。
フィルタホルダの破損・変形したものを使用すると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具を分解したり改造しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。



- 煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると火災・感電の原因となります。



- 異常と思われるときはすぐにプラグを抜き、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理を依頼してください。



- 落下防止ワイヤを必ず器具のアームに潜らせて受金具に掛けてください。
確実に取付けないと取付金具の破損により装置が落下し、物的損害・けがの原因になります。



- ダボ締結ナットは緩みがないか日常保守点検してください。
確実に取付けないと取付金具の破損により装置が落下し、物的損害・けがの原因になります。



注 意

1.使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。
屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災と電球の破裂の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は許容周囲温度内で使用してください。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。
- 電球は、指定された電球を使用してください。
指定以外（適合しない）の電球を使用すると、器具の破損・電球の破裂の原因となります。

2.取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。
未熟練者だけでの対応は、間違いの原因になるおそれがあります。
- 器具の取付・設置に方向性のある器具があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。指定以外の取付けを行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具のフィルタホルダ枠にカラーチェンジャ等の付属品を装着する場合は、フィルタホルダ枠の許容荷重に見合った付属品を使用してください。
不適正な付属品の使用は、器具本体の破損、付属品の落下による物的損害・けがの原因になります。

3.使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。
- 電球の取扱いは、電球の取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 電球の装着は、電球ソケットに確実に装着してください。
確実に装着されないと電球・電球ソケットの破損の原因となります。

4.使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具の取付に方向性のあるものがあります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具のフィルタホルダ枠にカラーチェンジャ等の付属品を装着する場合は、フィルタホルダ枠の許容荷重に見合った付属品を使用してください。
不適正な付属品の使用は、器具本体の破損、付属品の落下による物的損害・けがの原因になります。

注 意

- 器具の安全シールド（レンズ等）を取外して使用しないでください。
電球の破裂などにより破片等が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 紙フィルタホルダは、適合品を使用し位置ずれに注意してください。
位置ずれがあると火災の原因となります。

5.保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
- 器具の点検(整備)は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電球交換、部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと感電することがあります。
- レンズの着脱は、取扱説明書に従って行ってください。
正しく着脱を行わないと、レンズの破損、落下によるけがの原因となります
- 電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。感電・火災の原因となることがあります。
- 安全シールドに亀裂がないか日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
電球の破裂などにより破片が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 冷却ファン付器具は、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。
器具の故障・火災原因となります。
- 電球ソケット、リフレクタは点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
感電・故障の原因となることがあります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。
レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は、振動で緩む場合があります。取扱説明書に基づき処置をしてください。
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないで、清掃してください。
火災の原因となります。
- 電球の取扱いは、電球の取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 電球は指定された電球を使用してください。
指定以外（適合しない）の電球を使用すると、器具の破損・電球の破裂の原因となります。
- 電球の装着は、電球ソケットに確実に装着してください。
確実に装着されないと電球・電球ソケットの破損の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
器具の機能劣化・感電・火災の原因となります。

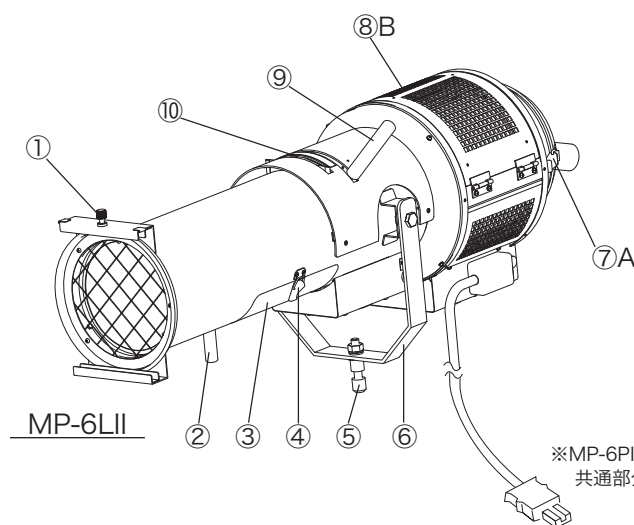
6.保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。
故障・絶縁不良の原因となります。
- 安全シールドに損傷を与えないように保管してください。
安全シールドの効力をなくす原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。
感電・火災の原因となるおそれがあります。

《ご使用方法》

各部の名称

- ① フィルタホルダ固定ツマミ
- ② フォーカス固定ハンドル
- ③ 点検清掃用扉
- ④ 点検用パッチン錠
- ⑤ ダボ
- ⑥ アーム
- ⑦ Aパッチン錠
- ⑧ Bフタ
- ⑨ シャッタ調整レバー
- ⑩ パターンホルダ挿入口

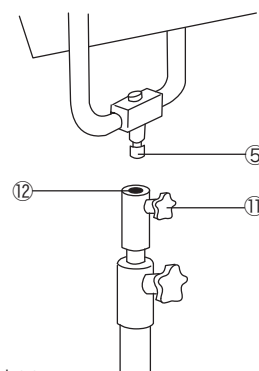


- 初めて器具を点灯するときに、発煙・発臭を伴うことがあります。発煙がおさまるまで点灯し、解消してください。

■ スタンドへの取付け

- スタンドは、平らな所でご使用ください。

- 1) ダボ固定ハンドル⑩を反時計回りにまわして、ダボ受け穴⑫にダボ⑤が入るようゆるめます。
- 2) ダボ⑤をダボ受け穴⑫に差し込みます。
- 3) ダボ固定ハンドル⑩を時計回りにまわして固定します。
- 4) 灯具の銘板の上部方向表示に従い器具をセットします。

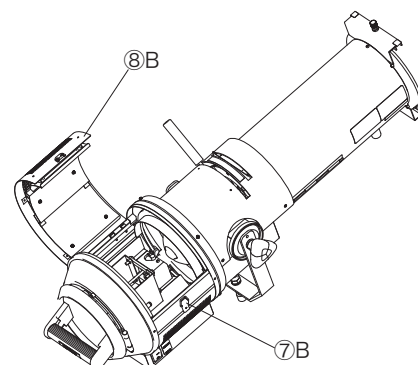


■ 電球の取付け

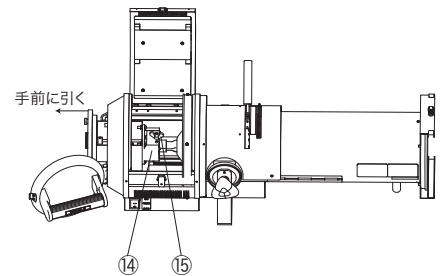
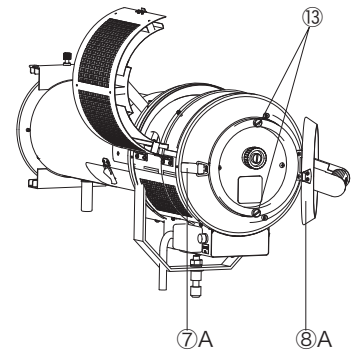
- 電球を取付けるときは、感電防止のためプラグを抜いてください。
- 器具の適合電球をご使用ください。
- 電球の取扱いはバルブの失透を防ぐため、きれいな手袋などを使用してください。バルブに素手で触れた場合は、アルコール等できれいに拭き取ってください。
- 消灯直後の電球は熱いので、充分冷めてから交換してください。

【MP-6LIIタイプ】

- 1) 器具側面のパッチン錠⑦Bを外し、上部のフタ⑧Bを開けます。

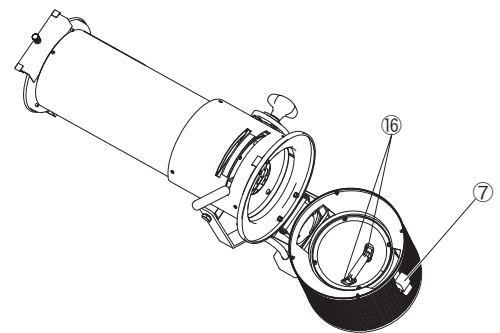


- 2) 器具後部のパッチン錠⑦Aを外してフタ⑧Aを開け、ランプハウストッパネジ⑬2コを反時計回りにまわし、ランプハウス部を手前に引き出します。
- 3) 電球ソケット⑭の電球固定ネジ⑮を緩め、電球のピンを電球ソケット⑭に口金部が接触するまで差込み、電球固定ネジ⑮をまわして固定します。
- 4) ランプハウス部を元に戻し、ランプハウストッパネジ⑬を時計回りにまわし固定します。
- 5) フタ⑧A、フタ⑧Bの順に閉め各パッチン錠⑦A、⑦Bで固定します。



【MP-6PII・MP-6SIIタイプ】

- 1) 器具後部を支えながらパッチン錠⑦をはずし、リフレクタの中心にある電球ソケット⑯がよく見えるようにします。
- 2) 電球を片側の電球ソケット⑯にさし込み、押し込みながらもう一方の電球ソケットに取付けます。
- 3) 電球が固定されたことを確認し、器具後部を閉じてパッチン錠⑦で固定します。

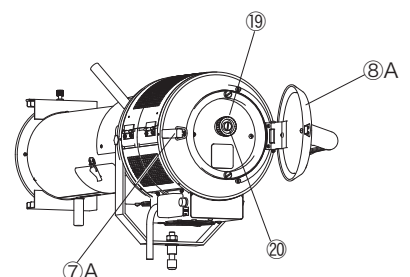
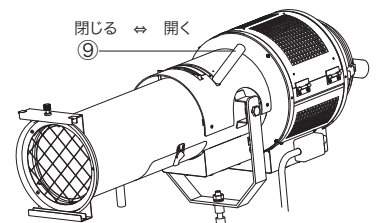
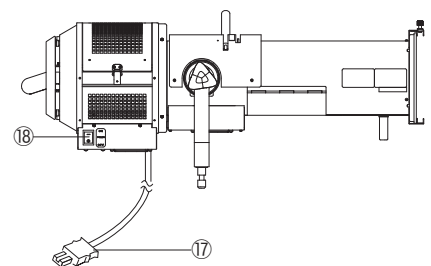


■電球調整

- 冷却ファンの作動を確認します。
(冷却ファンが作動しないときは、点検・修理をしてください。)

【MP-6LIIタイプ】

- 1) プラグ⑰をコンセントに接続し、POWERスイッチ⑱をONにして点灯します。
- 2) シャッタ調整レバー⑨を開く側に倒してあかりをだし、壁面などへ照射します。
- 3) 器具後部のパッチン錠⑦Aを外しフタ⑧Aを開けます。
- 4) 照射面のムラが少なくなるよう、左右/上下電球調整ハンドル⑲(外側)をゆるめて調整し、調整後、左右/上下電球調整ハンドル⑲(外側)を固定します。そのあと、前後電球調整ツマミ⑳(中側)をまわして調整します。

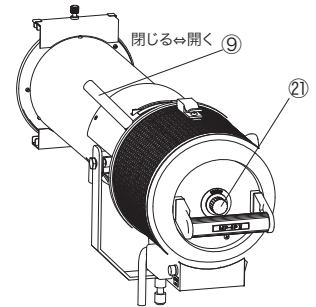
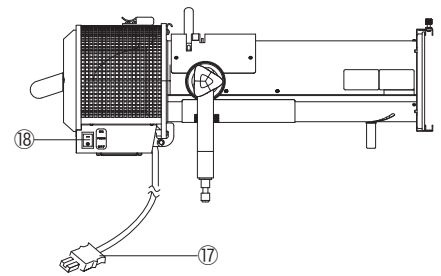


- 電球調整がズレたまま使用しますと、熱の影響によりシャッタが硬くなることがあります。この場合、シャッタ調整レバー⑨を無理に動かさないでください。シャッタが破損します。消灯後シャッタの操作ができることを確認してから、再度電球調整を行ってください。

【MP-6PII,6SIIタイプ】

- 1) プラグ⑰をコンセントに接続し、POWERスイッチ⑱をONにして点灯します。
- 2) シャッタ調整レバー⑨を開く側に倒してあかりをだし、壁面などへ照射します。
- 3) 照射面のムラが少なくなるよう、電球調整ネジ⑳をまわして調整します。

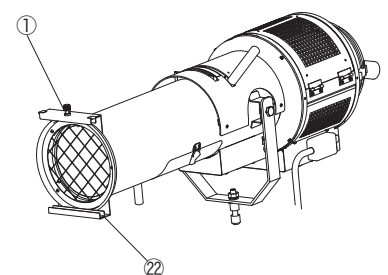
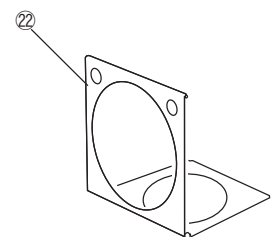
- 電球調整がズレたまま使用しますと、熱の影響によりシャッタが硬くなることがあります。この場合、シャッタ調整レバー⑨を無理に動かさないでください。シャッタが破損します。消灯後シャッタの操作ができることを確認してから、再度電球調整を行ってください。



■カラーフィルタの装着

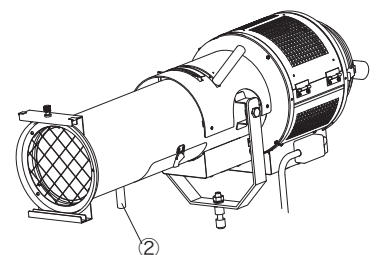
- 難燃製のカラーフィルタをご使用ください。
- カラーフィルタはご使用により、退色（色抜け）あるいは変色します。（器具の種類により退色・変色の時間が違います。）

- 1) ご使用になるカラーフィルタをフィルタホルダ⑳のサイズに合わせて予めカッターなどで切っておきます。
- 2) 器具前面のフィルタホルダ固定ネジ①を反時計回りにまわしてゆるめ、フィルタホルダ⑳を取り出します。
- 3) フィルタホルダ⑳を両手で持ち、角にある穴を指で押して開きます。
- 4) カラーフィルタを挟みフィルタホルダ⑳をしっかり閉じます。
- 5) フィルタホルダ⑳をフィルタホルダ枠㉓に装着し、フィルタホルダ固定ネジ①を時計回りにまわして固定します。



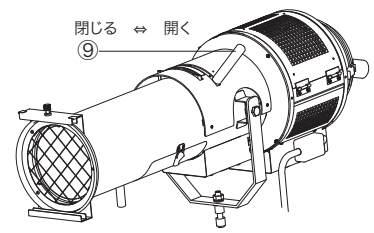
■フォーカス調整

- 1) 器具を点灯します。
- 2) フォーカス固定ハンドル②を反時計回りにまわしてゆるめ、前後に動かしながら照射径の調整をします。
- 3) 調整後、フォーカス固定ハンドル②を時計回りにまわし、固定します。



■ シャッタ調整

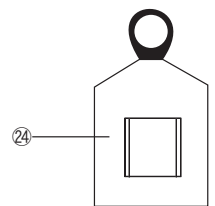
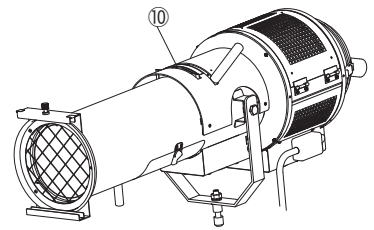
- 1) シャッタ調整レバー⑨を動かし、照射径の大きさを自由に調整できます。



■ パターンホルダの使用 <オプション>

- パターンホルダは必ず手袋をご使用のうえ操作してください。

- 1) パターンホルダ⑳にパターンを挟みます。映像はランプ側から見たパターンの、上下左右が逆になりますから注意してください。
- 2) 器具のパターンホルダ挿入口⑩に、パターンホルダ⑳を挿入します。
- 3) フォーカス固定ハンドル㉑でフォーカス調整をおこないます。

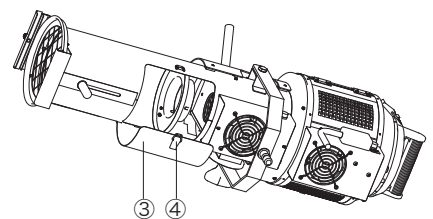


■ レンズ清掃

【点検・清掃用扉の開閉】

- 1) 点検用パッチン錠④をはずして、点検清掃用扉③を開けます。
- 2) レンズをアルコールで浸した布で清掃します。
- 3) 点検用パッチン錠④で点検清掃用扉③を閉じます。

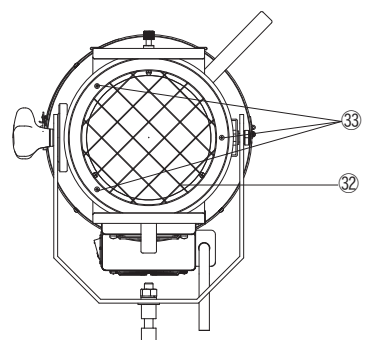
<下部からのスケッチ>



【前部保護アミの脱着】

- 1) 前部の保護アミ㉒のビス㉓を外し保護アミを取外します。
- 2) レンズをアルコールで浸した布で清掃します。
- 3) 保護アミ㉒を取付け、保護アミをビス㉓で固定してください。

<前部からのスケッチ>



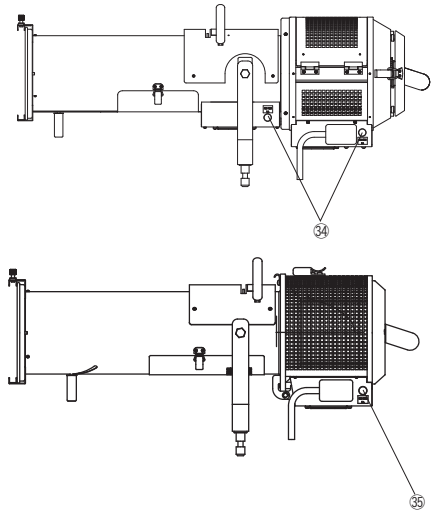
■ ヒューズ交換

【MP-6LIIタイプ】

- 1) 器具側面にあるヒューズつまみ③④ (2ヶ所) を反時計回りにまわして取外しヒューズの交換を行ってください。

【MP-6PII,6SIIタイプ】

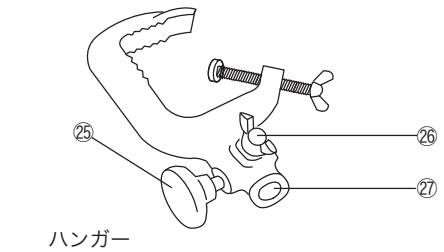
- 1) 器具側面にあるヒューズつまみ③⑤を反時計回りにまわして取外しヒューズの交換を行ってください。



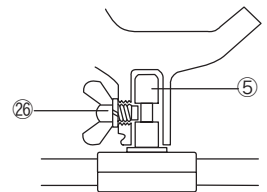
■ ハンガーへの取付け【MP-6SIIのみ】

- 照射方向を変える場合は、決して落下防止蝶ボルト②⑥をゆるめないでください。

- 1) ダボ固定ハンドル②⑤と落下防止蝶ボルト②⑥を反時計回りにまわしてゆるめます。
- 2) ハンガーのダボ受け穴②⑦を、ダボ⑤が見えなくなるまで差し込みます。
- 3) 落下防止蝶ボルト②⑥を、スプリングワッシャが平らになるまで時計回りにまわします。ハンガーを持ち、「落下防止が働いている」ことを確認します。
- 4) ダボ固定ハンドル②⑤を時計回りにまわして、ダボ⑤を固定します。



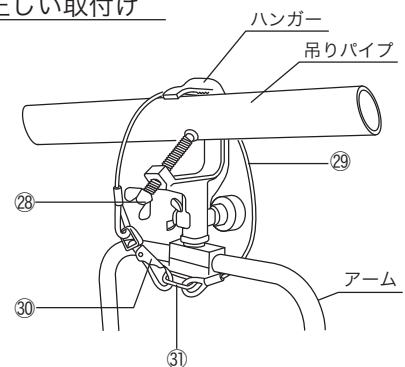
ハンガー



■ 器具の吊りパイプへの取付け【MP-6SIIのみ】

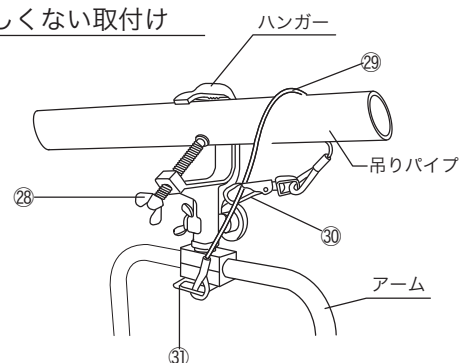
- 1) ハンガーのハンガー固定蝶ボルト②⑧を反時計回りに回しゆるめ、パイプに取付ける幅をとります。
- 2) ハンガーを吊りパイプに取付け、ハンガー固定蝶ボルト②⑧を時計回りにまわしてしっかり固定します。
- 3) 器具の落下防止ワイヤ②⑨をアームに潜らせ、吊りパイプにかけて (正しい取付け図参照)、スナップフック③⑩をスナップフック受金具③⑪に確実に取付けます。

◎正しい取付け



※スナップフック③⑩を落下防止ワイヤ②⑨に掛けないでください。

×正しくない取付け



⚠ 注意

一度器具を落下させワイヤが機能を果たした場合は、必ずその落下防止ワイヤ及びスナップフック受金具は交換してください。屈曲や素線断線等、ワイヤに異常がある場合も交換してください。

《点検と修理》

■日常点検と整備のお奨め

お買い求めいただいた照明器具の性能を末長く維持し安全を確保するために、下記の日常点検項目に基づき、点検及び処置をしてください。

—— 日常点検項目および処置 ——

分類	点検項目	処置			修理 依頼
		清掃	増締め	交換	
灯体	灯体、アーム、ダボに異常変形はないか。				○
	角度調整部の動作、ハンドルの締付けに異常はないか。				○
	脱落した部品はないか。				○
	フィルタホルダ枠に変形、歪み、などの損傷はないか。				○
	フィルタホルダ枠の押さえ金具に変形などの損傷はないか。				○
	フォーカス調整部は円滑に動作するか。				○
	ネジ類に緩みはないか。		○		
	灯体内に埃や紙吹雪はないか。	○			
※落下防止 ワイヤ (MP-6SIIタイプ)	スナップフック受金具に歪みなどの損傷はないか。				○
	ワイヤにほつれ、キンクなどの損傷はないか。				○
	スナップフックに伸びなどの損傷はないか。				○
	ダボのゆるみはないか。				○
レンズ	レンズは汚れていないか。	○			
	レンズに変色、ひび割れなどはないか。			○	
	レンズ押さえ用シリコンゴムなどに変色、亀裂はないか。			○	
ファン	ファンは動作するか。				○
ヒューズ	ヒューズが切れていないか。注1)			○	○
シャッタ プラグ	シャッタは正常に操作できるか。注2)			○	○
	変色、損傷はないか。			○	
	端子ネジの緩みはないか。 プラグの着脱は良好か。		○		
電源コード	被覆に傷、変色、亀裂などはないか。				○
内部配線	変色、傷、焼損はないか。				○
ソケット	変色、酸化、焼損はないか。				○
	ランプは確実に装着できるか。				○
	端子ネジの緩みはないか。		○		
電球	バルブにふくれ、黒化、変色はないか。			○	
	口金部に損傷はないか。			○	
リフレクタ	リフレクタは汚れていないか。	○			
	傷、歪みなどの損傷はないか。			○	
絶縁抵抗	器具は漏電していないか。(絶縁抵抗5MΩ以上)				○

※落下防止ワイヤの修理は、ワイヤおよび金具の一式交換となります。

注1) 電球調整がズレたまま使用しますと、熱の影響によりシャッタが硬くなることがあります。

この場合、シャッタ調整レバー⑨を無理に動かさないでください。シャッタが破損します。

消灯後シャッタの操作が出来ることを確認してから、再度電球調整(8,9ページ)を行ってください。

注2) ヒューズが切れていると、ファンは動きません。

■定期点検のお奨め

(1)使用期間における経年変化または、ご使用の状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁性能の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお奨めします。

(2)定期点検(保守契約)については、弊社の支店ならびに営業所にお問い合わせください。

■修理

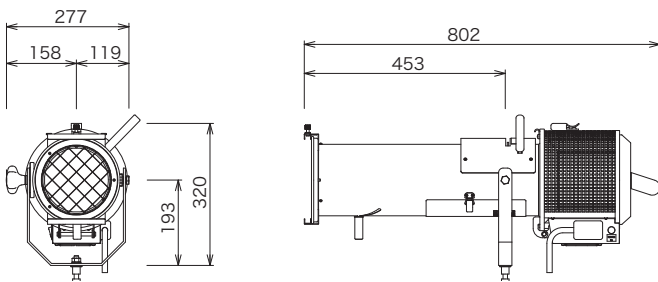
(1)修理の判断

上記日常点検項目に基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、及びその他の異常がある場合は、修理依頼をしてください。

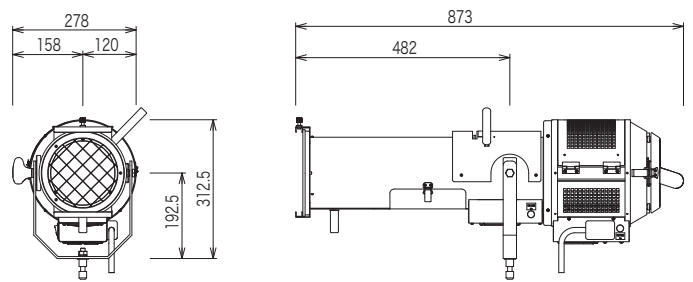
(2)修理は、弊社の支店ならびに営業所にお問い合わせください。

《外形寸法》 (単位：mm)

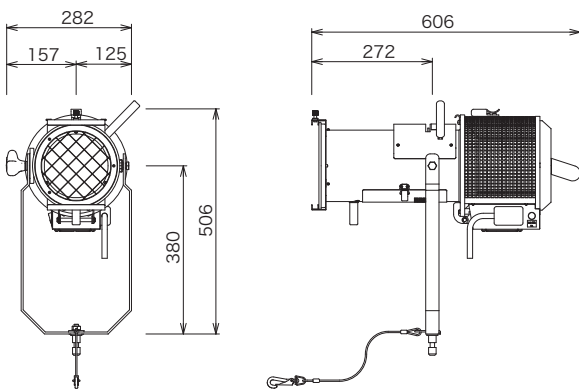
MP-6PII



MP-6LII



MP-6SII

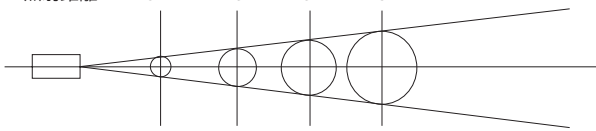


《照度データ》

MP-6PII

●使用電球 JPD 100V 650WC

照射距離 5m 10m 15m 20m



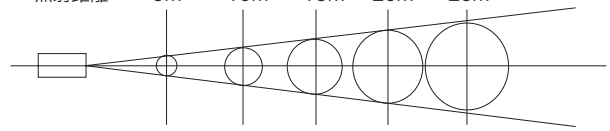
照射径 (φ) 1.0m 2.0m 3.0m 4.0m

最高照度 5700 lx 1425 lx 630 lx 350 lx

MP-6LII

●使用電球 JCD 100V 1000WB/EM

照射距離 5m 10m 15m 20m 25m



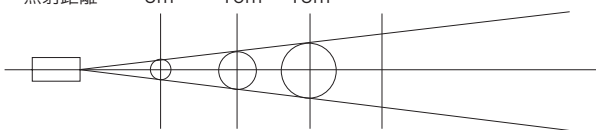
照射径 (φ) 1.2m 2.4m 3.6m 4.8m 6.0m

最高照度 6300 lx 1575 lx 700 lx 390 lx 250 lx

MP-6SII

●使用電球 JPD 100V 650WC

照射距離 5m 10m 15m



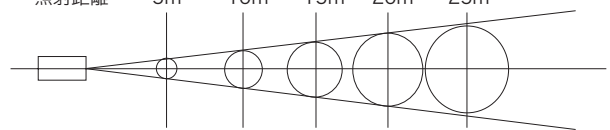
照射径 (φ) 2.0m 4.0m 6.0m

最高照度 3250 lx 810 lx 360 lx

MP-6LII

●使用電球 JCD 100V 1000WC/EM

照射距離 5m 10m 15m 20m 25m



照射径 (φ) 1.2m 2.4m 3.6m 4.8m 6.0m

最高照度 7300 lx 1825 lx 810 lx 450 lx 290 lx

《仕 様》

	MP-6LII	MP-6PII	MP-6SII
定格電圧	100V		
消費電力	1018W	661W	
ファン内蔵	100V /18W	100V /11W	
周波数	50/60Hz		
最高周囲温度	40°C		
最高表面温度	125°C	145°C	
使用角度範囲			
最小照射距離	1.4m	2.0m	1.4m
最小離隔距離	0.2m	0.1m	0.1m
レンズ	平凸 先玉) D152mm 元玉) D89mm		
リフレクタ	楕円		
照射距離	5m~25m	5m~20m	5m~15m
照射角	14.0°	11.0°	22.0°
灯 体	鋼板製 ダークブラウン&グレー		
質 量	11.0kg	8.4kg	8.8kg
電源コード	2PNCT 2mm ² ×E2mm ² 2.0m C型20A プラグ付		
フィルタホルダサイズ	195mm×195mm		
ヒューズ	1A(φ5.2×20mm)		
シャッタ	アイリスシャッタ		
適合電球	JCD 100V 1000W B/EM,C/EM	JPD 100V 650W C	JPD 100V 650W C
オプション	スタンド, カラーホイル, パターンホルダ		

《弊社連絡先》

警告表示・銘板が読みにくくなったり、はがれそうになったときは、すぐに貼り替えて修復してください。
また、商品のお問い合わせやアフターサービスは、最寄りのサービスセンター・支店等にご連絡ください。

東京サービスセンター TEL 03-3607-2166

サービスセンター フリーダイヤル 0120-092-714

記載の製品に関しましては、改良の為、予告なく仕様変更を行うことがありますので予めご了承ください。

株式会社 松村電機製作所

本 社 〒113-0031 東京都文京区根津2-12-1 TEL03-3821-6169(代) FAX03-5685-3144

東京支店 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03-3821-6161(代) FAX03-3821-6186

関西支店 〒530-0043 大阪市北区天満2-12-16 TEL06-6352-0245(代) FAX06-6352-2972

中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-28-12名古屋若宮ビル TEL052-265-1591(代) FAX052-265-1590

九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20NOF博多駅前ビル TEL092-451-3831(代) FAX092-451-3829

東北支店 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-6-2KJビルディング TEL022-221-7791(代) FAX022-267-6892

中国支店 〒730-0032 広島市中区立町1-2 0 NREG広島立町ビル TEL082-245-8161(代) FAX082-245-1537

札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南三条西3-8-1エテルノビル TEL011-210-9561(代) FAX011-210-9562

沖縄営業所 〒900-0033 沖縄県那覇市久米1-15-1 上山ビル TEL098-860-6377(代) FAX098-860-6392

M.V.F (テレビ事業部) 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03-3821-6161(代) FAX03-3821-6186

サービスセンター 〒125-0052 東京都葛飾区柴又3-5-6 TEL03-3607-2166(代) FAX03-3627-2505

2013.5_1